

科目名	応用物理Ⅱ	英語科目名	Applied Physics
開講年度・学期	平成22年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科・4年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位
担当教員	本多良政	居室（もしくは所属）	建築棟 2F A-207
電話	0285-20-2838	E-mail	y.honda@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
力学について、理解を深める			
1. 力と運動について理解する			
2. 仕事とエネルギーについて理解する			
3. 剛体と連続体の力学を理解する			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～3に対して、定期試験の解答内容と成績(60%)により評価を行う			
評価方法			
定期試験の成績で評価を行う			
授業内容			
1週目 授業ガイダンス、力学の単位			
2週目 運動			
3週目 運動の法則			
4週目 摩擦力と抵抗			
5週目 振動(1)			
6週目 振動(2)			
7週目 (中間試験)			
8週目 答案返却、仕事とエネルギー(1)			
9週目 仕事とエネルギー(2)			
10週目 剛体の重心			
11週目 剛体の平面運動			
12週目 力のつりあい			
13週目 見かけの力			
14週目 連続体の力学 (前期定期試験)			
15週目 答案返却及び解説			
キーワード	力学、運動、力、エネルギー		
教科書	原康夫「理工系の基礎物理 力学」学術図書出版社(1998)		
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
A-1			
JABEE 基準1の(1)との関係	(d)-1		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	物理、応用物理、数学		
現学年の関連科目	応用数学		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 授業を受ける際にテキストを使った予習を行うこと。			
2. 授業で扱う内容と実現象または建築との関係について常に考えると理解しやすい。			
シラバス作成年月日	平成22年2月24日		